



岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 5 年 12 月 25 日
岡 山 大 学

**文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択
～地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学：岡山大学の
実現を加速とともに世界に誇れる我が国の研究大学の山脈を築く～**

本学は 12 月 22 日、文部科学省の令和 5 年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」（実施主体：日本学術振興会（JSPS））に採択されました。

本事業は、JSPS が実施主体となり、我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため、地域中核・特色ある研究大学に対し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要な環境構築の取り組みを支援する事業です。今回、69 大学（国立 39 大学、公立 7 大学、私立 23 大学）から申請があり、書類選考とヒアリング選考等を経て、12 大学（国立 9 大学、公立 1 大学、私立 2 大学）が採択されました。事業期間は 5 年間です。

本学は、岡山大学長期ビジョン 2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の確実な実現に向けた手段として、「**地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる 10 年構想～**」というテーマで申請しました。

ビジョン実現のために、強みある 3 領域で本事業を実施します。「**光合成・植物科学領域**」の深化と「**材料・エネルギー領域**」の融合から世界初の光合成の機構解明や人工光合成・新素材開発等の課題解決のブレークスルーとなる新知見を生み、イニシアチブを確立します。「**医学・臨床医学領域**」は、国家プロジェクトの参画と自治体・企業等との連携でデジタル技術の活用と規制緩和を進め、医療制度や生活様式を変革するイノベーションを起こします。さらに、アカデミア発の知見と共創の場を求めて企業等から多様な人材が集まり、ともに世界的地球環境課題（食料・エネルギー危機・地域医療等）に向き合う、卓越した研究力とイノベーション力を兼ね備えた地域の中核大学として、「**知識によって社会を変革するナレッジワーカー（知識労働者）**」を育成・輩出し、研究・イノベーションの叡智で地球と生態系の健康（*Planetary Health*）、Well-being・人の健康（*Human Health*）及び安心・安全に暮らせる地域の健康（*Community Health*）の実現と、そのための社会変革を実現します。

今後、J-PEAKS 採択大学等とも連携し、「世界に誇れる研究大学の山脈（PEAKS）」を築きあげていきたいと思っております。どうぞ、本学のみならず J-PEAKS 採択大学の挑戦にご期待ください。



PRESS RELEASE

■発表内容

本学は12月22日、文部科学省令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」(実施主体：日本学術振興会)に採択されました。

本事業は、我が国全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行うものです。我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的に、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした経営戦略の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図ります。今回69大学からの申請があり、12大学(国立9大学、公立1大学、私立2大学)が採択されました。

本学は、岡山大学長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現に向け、本学の事業構想である「研究力強化・イノベーション創出戦略」を強かに推進します。

岡山大学ビジョン3.0・岡山大学長期ビジョン2050

岡山大学の理念「高度な知の創成と的確な知の継承」
岡山大学の目的「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」

長期ビジョン2050(～2050)：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学
岡山大学ビジョン3.0(2022～2027)：ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学

SDGs大学経営：SDGsへの貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・産学共創を一体的に改革して新たな事業モデルを展開

グローバル・エンゲージメント戦略
国際機関等多様なステークホルダーと協働し、グローバル・エンゲージメントの強化

岡山大学DX推進プラン：デジタルトランスフォーメーション(DX) for SDGs

教育	研究・産学共創	大学経営
「主体的に変わり続ける先駆者」の育成	研究成果の社会実装を促進し社会課題解決	変化に強い強靱な組織へ
<ul style="list-style-type: none"> 大学院教育改革 学士課程と高大接続の一体改革(Target2025) リカレント教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 若手研究者が自由な発想で挑戦的研究に取り組める環境の整備 学内におけるイノベーション創出機能の集約化と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ERMによるガバナンス体制の強化 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 インナーブランディングの強化 大学病院経営の健全化、財源の多様化、自律的な法人経営

本事業における主な取り組みは、下記の通りです。

①研究IR(エビデンス)に基づき、強み分野と次世代にリソースを投資し、研究界のトップサークルと勝負できるよう、強みをさらに“強く”、“尖らせ”ます。そのために従来から実施している国際的学術研究拠点「RECTORプログラム」をさらに進化しつつ、本年に新たに制定・改定した「岡山大学最重点研究分野」と「岡山大学研究ポリシー」及び新研究マネジメントシステム「岡山大学高等先鋭研究院」(4研究所+先鋭研究群(研究特区))による、拠点間の有機連携・シナジー効果、順位付け制度による入れ替え(流動)による切磋琢磨、派生研究の切り出し育成等の取り組みをより加速します。そのトップランナーとして世界トップレベルの研究者集団である「植物・天然光合成」分野と東京大学などとの連携により、世界の類を見ない学術成果から「革新的材料・クリーンエネルギー」分野及び産業界と連携を図り、地球と生態系の健康(Planetary Health)を達成します。



岡山大学高等先鋭研究院のシステム

拠点組織の「箱」ではなく、卓越、イノベーション創出、流動、育成を兼ね揃えた「システム」として運用開始

高等先鋭研究院を「第1レイヤー」、本学の育成専門機構であるグローバル最先端異分野融合研究機構(G研究機構)を「第2レイヤー」とし、それぞれにミッションを明確に。さらに高度研究系マネジメント人材であるURAの優先的配置や自己資金をも注力することで、システム運用を強化へ。

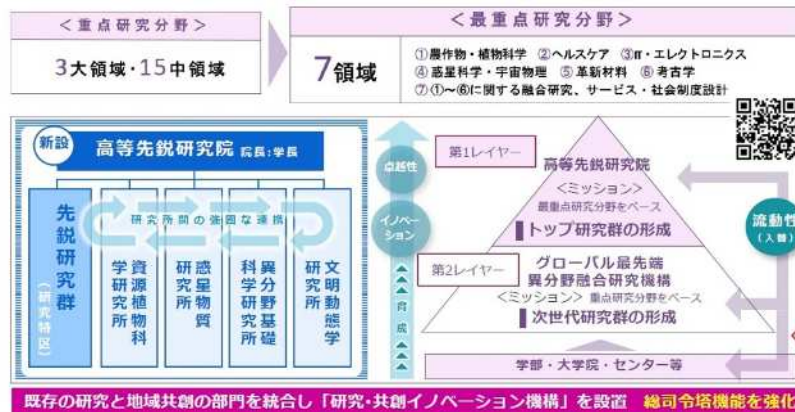
我が国初の試み

岡山大学高等先鋭研究院
OKAYAMA UNIVERSITY

緊張感を持ってシステムを運用

研究IRにより岡山大学の4研究所を高等先鋭研究院の初代枠組みに入れているが、基準を満たさなければ研究所を解散・再編させる覚悟を持って運用する

自己資金 約5.6億円/年を投入



岡山大学高等先鋭研究院のシステム

岡山大学高等先鋭研究院の院長は那須保友学長が、副院長はG研究機構長*を務める佐藤法仁副理事・副学長・URAと4研究所の平山隆志所長、芳野極所長、沈建仁所長、松本直子所長の5名が務める。



那須保友院長 (学長・法人の長) 佐藤法仁副院長 (G研究機構長) 平山隆志副院長 (資源植物科学研究所長) 芳野極副院長 (惑星物質研究所長) 沈建仁副院長 (異分野基礎科学研究所長) 松本直子副院長 (文明動態学研究所長)

* 岡山大学グローバル最先端異分野融合研究機構(G研究機構)

文部科学省「研究大学強化促進事業」において創設した研究群を育成するための専門機構。10年間の研究大学強化促進事業(昨年度終了)における育成ノウハウを次に活かすため、高等先鋭研究院との密な連携によって岡山大学における研究・イノベーション力の「厚み」を担っていきます。なお、G研究機構長は高等先鋭研究院の副院長を兼任し、マネジメントの俯瞰も担保しています。



②社会課題解決からイノベーション創出を図り Well-being 社会を実現するため、国家戦略や地域の思いを先取り先導し、岡山大学でしか成し得ない研究を展開のうえ、「外なる場」でのコミュニティ形成と総合知により社会変革を起こします。本学は国家戦略特区「デジタル田園健康特区(岡山県吉備中央町)」に深く関わり、様々な取り組みを展開しています。国家戦略特区(スーパーシティ



PRESS RELEASE

型国家戦略特区、デジタル田園健康特区)に関係している大学と連携して**共生型連合体**(筑波大学、山梨大学、大阪大学)を構築し、今後、これを基盤に関連特区の規制事業を横展開し、実証数の増、実証のスピード化、地域特性比較などの検証からイノベーションを創出し、医療制度の規制緩和や革新的新医療技術開発、地域の暮らし変革などを加速し、*Human Health* (人の健康)、*Community Health* (地域の健康)の地域振興のハブとなります。

③これらの取り組みを支える研究基盤(設備とヒト)改革として、先端設備の整備とアカデミアだけでなく産業界も含めた設備共用システムの強化(ハード面)、技術人材の高度化(テクニカルコンダクター、技術プロジェクトマネージャーの育成:ソフト面)双方の強化により、イノベーション創出の知と技のメッカ(集積拠点化)を構築します。東京大学クライオ電顕ネットワークの中・四国地域での拠点化、理研 SPring-8 とのリモートステーション化による大型実験の事前分析拠点の構築、東京工業大学、山口大学、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校との連携から、設備利用の好循環の構築とオールジャパンでの高度技術マネジメント人材の育成を加速させます。

④研究力強化とイノベーション創出に向けた人事・財務戦略として、若手・中堅・シニアが、やりがい、感動、高揚感を感じ、誇りと希望を持ち研究に打ち込める環境の整備と、高度専門マネジメント人材改革として、先例にとらわれない、人事給与制度改革を断行し、知識によって社会変革を起こす人材「ナレッジワーカー」の育成・輩出を進めます。

岡山大学最重点研究分野と研究ポリシー

・岡山大学最重点研究分野

2023年7月31日の役員会において、研究IRなどを基にして、7つの分野を制定した(7月19日教育研究評議会承認)。

- | | | | |
|--------------|-----------|----------------------------|---------------|
| ① 農作物・植物科学分野 | ② ヘルスケア分野 | ③ IT・エレクトロニクス分野 | ④ 惑星科学・宇宙物理分野 |
| ⑤ 革新材料分野 | ⑥ 考古学分野 | ⑦ ①～⑥に関係する融合研究、サービス・社会制度設計 | |

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12288.html



・岡山大学研究ポリシーの改正

2023年10月30日の役員会において、「岡山大学研究ポリシー」を改正した(10月18日教育研究評議会承認)。

主な改正ポイントは、

- ①岡山大学長期ビジョン2050の実現に根ざしている点
- ②産業化や社会実装等のイノベーション創出に関わる点を含む点
- ③生成系AIや研究インテグリティなどを明記した点
- ④機器共用促進を含む設備整備等の研究環境の質向上と研究に従事する者のパートナーとしての技術職員の人材育成強化の点
- ⑤岡山大学最重点研究分野の研究推進を行う点
- ⑥岡山大学高等先鋭研究院のシステムを強力に推進する点
- ⑦研究に従事する者「個人」ではなく、集団としての「群」を対象に研究推進を行う点
- ⑧大学院博士課程(後期課程)に在籍する大学院生を「研究者」と位置づける点
- ⑨高い研究能力を有して研究活動に従事する者に対しては、研究活動時間や活動費等のインセンティブを与える点
- ⑩リサーチ・アドミニストレーター(URA)は、岡山大学執行部の研究プレーン組織を担うマネジメント人材とともに、法人経営を担う人材として大学内だけではなく社会とともに育成を図る点

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12553.html

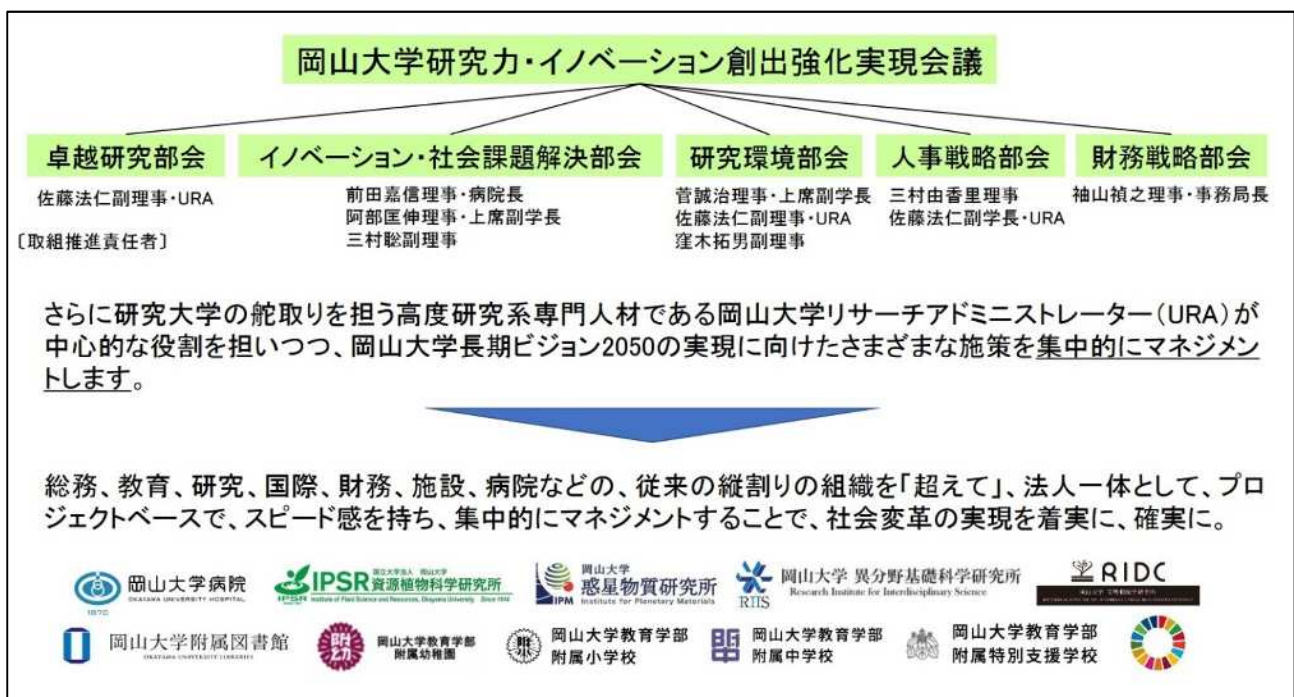


今回の J-PEAKS の採択を受けて、担当である本学の佐藤法仁副理事・副学長・URA は「本事業申請に取り掛かるにあたり、『目的』と『手段』をはき違えないために『事業のためではなく、本学のビジョン達成のために申請する』という点を全学で再確認し、取り掛かりました。そのため事業の採否に関わらず計画しているものは申請後の審査期間中もどんどん進めました。そのため申請書



PRESS RELEASE

に記載している初年度計画の大半は既に終えている状態となっています。大学・研究機関のみならず、社会・歴史が大きく変化し続ける中、大学のあり方も変わっています。本事業の採択は、本学のみならず採択大学における大きな転換点になると感じています。大学の歴史的意義を抱えつつ、新しい時代の大学『学問の府』のあり方も築きあげていく好機とも考えます。そして本事業は数多くの人たちの人生をも変える大変インパクトがある事業です。私たちはとても重い責任を担っていることを自覚しつつ、社会変革を起こす“力”があることの矜持を抱き、過去・現在・未来のステークホルダーとともに前へ前へと歩んでいきます。固定観念を廃し、失敗を恐れず、何度も何度も挑戦し続ける研究大学：岡山大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます」とコメントしました。



本学では、既に本事業の司令塔とも言える「岡山大学研究力・イノベーション創出強化実現会議」を設置・始動し、長期ビジョン 2050 の実現に向け、部門の垣根を越え、多種多様な知を生かす「アジャイル型手法」を用いて、研究力・イノベーション創出強化から社会変革を起こすべく、諸施策を強力に推進しています。文部科学省「研究大学強化促進事業」（平成 25 年度～令和 4 年度、最終評価：S）、内閣府「国立大学イノベーション創出環境強化事業」（令和 2～3 年度）、文部科学省「国立大学経営改革促進事業」（令和 3 年度）、文部科学省「国立大学経営改革促進事業」（令和 4 年度～）及び JST「共創の場支援プログラム」等で進めてきた大学経営改革をさらに加速させ、新たな価値の創出と社会変革を強力に進めます。また、J-PEAKS 採択大学等とも連携し、「世界に誇れる研究大学の山脈（PEAKS）」を築きあげていきたいと思ひます。どうぞ、本学のみならず J-PEAKS 採択大学の挑戦にご期待ください。

なお本件の詳細については、1 月 25 日「岡山大学定例記者発表」の学長発表において紹介する予定です。



PRESS RELEASE

○那須保友学長のコメント

エビデンスに基づいた資源の重点投資を通じて世界トップレベルの研究領域やイノベーション創出拠点を形成し、社会変革を起こせる研究大学を目指すとともに、「不易流行の大学経営」を通じて、誰もがワクワク・ドキドキと過ごせる「誇りと希望の学都」を目指します。

今後、これまで以上に学内構成員や学外のステークホルダーへの周知等を行っていきます。研究プロジェクトの推進やイノベーション創出等を通じた社会改革と、研究環境の改善を含めた組織風土の改革が求められています。組織風土を学部生、大学院生、研究者、職員、そしてステークホルダーとともに変えていく起爆剤ともなると考えます。それを一言で「ワクワク・ドキドキ」としました。

今後も本事業を通じてワクワク・ドキドキを盛り上げ、岡山大学長期ビジョン 2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現を確実にしていきます。引き続き、地域中核・特色ある研究大学：岡山大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



那須保友学長

<参考1>

- ・日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」

<https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/index.html>





<参考 2>

- ・岡山大学高等先鋭研究院を創設～世界と伍す研究・イノベーションの卓越と厚みを育成するシステムを構築～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12398.html

- ・「岡山大学最重点研究分野」を制定～地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学を実現するために～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12288.html

- ・「岡山大学研究力・イノベーション創出強化実現会議」を設置・始動～矜持とスピード感を持って社会変革を実現する研究大学を目指し、司令塔機能を一本化～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12475.html

- ・岡大長期ビジョン 2050 をより確実に実現させ、社会変革を起こす”力”がある研究大学：岡山大学を目指して「岡山大学研究ポリシー」を改正



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12553.html

- ・岡山大学の4研究所を「高等先鋭研究院」に認定 ～世界と伍す研究・イノベーションの卓越と厚みを育成するシステムを始動～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12565.html

<お問い合わせ>

岡山大学研究力・イノベーション創出強化本部 統括事務局
(電話番号) 086-251-7115



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

